

令和4年度 第1回大田区子ども・子育て会議について

1 開催日時

令和4年7月8日（金） ※web 会議システムを使用し、オンラインで開催

2 議事

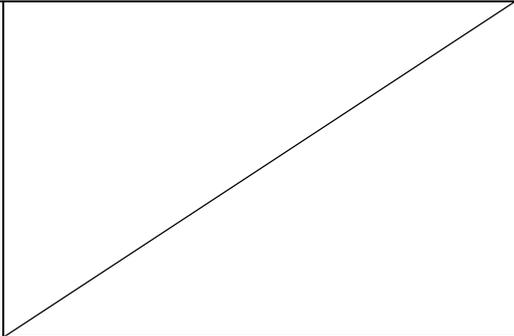
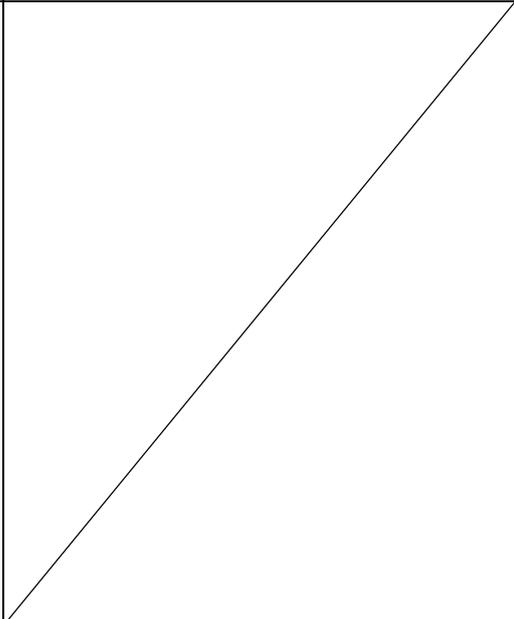
(1) 「大田区子ども・子育て支援計画」令和3年度実績報告について

【概要】

・別紙（資料2-1、2-2）に基づき説明

【委員からの質問・意見と区の回答】

質問・意見	回答
保育サービスアドバイザーの相談件数が減った要因は何か。	出前型出張相談をここ2年、コロナ禍で中止していることなどが挙げられる。 一方で来庁相談の希望者は多く、オンラインでの説明会や個別相談等を実施している。
子育てひろば利用者数が増えた要因は何か。 区民にとって、相談の場があることは大切なため、コロナ禍でも相談が出来ないということが無いようお願いしたい。	令和2年度は2か月間、事業を中止した影響で人数が減少したが、令和3年度はその分が戻ってきたと考える。 また、学童保育事業を学校内に移設した児童館の中で、乳幼児相談に力を入れているところもある。 そうした児童館等を中心に徐々に相談件数が増えていると報告を受けている。
自殺者は増えていると思われるが、区の自殺対策としてはどのような取組みがあるのか。 様々な取組みを行っている中でも数値は上昇している。コロナ禍であることも（自殺死亡率上昇の要因として）懸念される。もう一步踏み込んだ取組みを検討してほしい。	取組例を挙げると、区では、身近な人の自殺を思いとどまるよう声掛けするゲートキーパーを養成するための講座を実施している。 いただいたご意見は、庁内関係部局と共有する。

<p>他自治体でも、コロナ禍で気分が沈み自殺に至ったケースについて、行政としてニーズをキャッチして何か支援が出来たのかが課題になっている。</p> <p>区でも継続した取組みにより数値の改善をお願いしたい。</p>	
<p>子育てひろばの相談内容について、具体的に聞きたい。</p>	<p>コロナ禍の影響により、家庭環境が変化したことによる不安に関する相談のほか、家庭内での消毒方法など感染症対策への質問が多くなっていた。</p> <p>また、従来からの子どもの発育・発達に関する相談があった。</p>
<p>現在、待機児童はゼロになっているが、保育士確保のため、引き続き宿舎借上げ支援や応援手当が必要と考えている。</p> <p>令和4年度事業計画では、継続して実施すると記載されているが、計画期間の2024年度（令和6年度）まで保育所の新規開設を支援するということが良いか。</p>	<p>宿舎借上げ事業については、令和4年度は変更なく実施する。令和5年度以降は、国・東京都の補助金の動向を注視し検討する。</p> <p>待機児童が2年連続しゼロとなったことから、認可保育所の新規開設は当面見送る。</p>
<p>保育・幼児教育について、全体的な量は確保されているが、地域によっては新設を求められる場合もある。</p> <p>また、質の部分において、様々な生活課題を抱えた子どもや家庭に関わる上で、保育士が大田区で働くと学ぶ機会があると思える環境づくりについても、中長期的に見ていく必要があるので、区でも検討願いたい。</p>	

<p>保育園と幼児教育の処遇の差が問題になっている。</p> <p>保育園・幼稚園両方を運営しているが、両者の新人職員の年間賃金に差が生じている。</p> <p>保育士には支援制度として、月額1万円の補助金があるが、同じ子どもを預かる私立幼稚園の従事者にはない。</p> <p>幼稚園の教員が集まらないため、園児の募集を減らす状況にある。</p> <p>保育優先になっているが、教育についても、子ども・子育て会議で取り上げてもらいたい。</p>	
<p>区民はただ預かってくれれば良いというのではなく、家庭外でもより良い教育の質が受けられるような環境を求めており、幼稚園に通わせたい世帯もある。</p> <p>区は保育・就学前教育・在宅での子育て支援等、全てのニーズがとりこぼされることの無いようお願いしたい。</p>	

(2) 「大田区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直し、「大田区子ども・子育て支援計画」スケジュール(案)について

【概要】

・別紙(資料3、4)に基づき説明

【委員からの質問・意見と区の回答】

質問・意見	回答
<p>アンケート調査にあたり、設問項目のほか、対象者についてはどのように考えているのか。</p>	<p>前回(平成30年度)の調査では、就学前・小学校児童の保護者、中学生、高校生世代を対象に、6,700件の調査を実施した。アンケートの対象者についても今後の</p>

	会議で検討していく。
子ども・子育て会議は、「子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しを行わないとした区の考え方について、異議が無い旨、区に答申する。	

(3) その他

【概要】

- ・こども家庭庁設置の動きについて、別紙（1から3）に基づき説明

【委員からの意見】

意見
<p>こども家庭庁はまだ外枠が決まったばかりで、運用はこれからと認識している。</p> <p>区でどのように推進していくかは、今後の動向を見ないといけない。</p>

3 その他

次回の第2回会議は、11月上旬にオンラインで開催予定